

請・与路島の魅力発信へ

海の駅内に案内窓口開設

瀬戸内町

瀬戸内町の請島と与路島の観光・移住・商工支援を目的とした案内窓口「古仁屋ポ
ートコンシェルジュデスク」が7月26日、同町古仁屋のせとうち海の駅内にオープンし
た。当面は地元住民に向けたサービス提供を中心とし、水・日の週2日、情報発信や
需要調査などを行う。事務局は「世界自然遺産登録で交流人口の増加が見込まれる中、
地元の見聞を踏まえた上で自然や文化を守る人や企業を呼び込みたい」と話した。

与路島請島観光商工協会
(榮勝永会長)が主体で、T

ARGETA mami社
(本社・瀬戸内町古仁屋、立

石聡明社長)が事務局を務
める。新型コロナウイルス
感染拡大予防のため、しば
らくの間は奄美大島5市町
村の住民を対象とした観光
案内や、請・与路両島の住
民への買い物代行、荷物預
かりサービスなどを行う。

将来的には同社の関連会
社も協力し、①現地の観光
メニューや宿泊施設の紹介
と予約②賃貸物件案内③移
住希望者と地元との交流支
援④行政と連携した地域振
興⑤起業支援や企業誘致一
など幅広い事業を展開する
予定。

窓口は町営船・フェリー
切符売りの横。当面はス
タッフ2人に対応し、船の
運航時間に合わせて水曜日

せとうち海の駅内にオー
プンした案内所。7月28日、
瀬戸内町古仁屋



と日曜日の午前9時〜午後
8時半ごろの稼働を見込ん
でいる。

TARGET mami
の瀧真一郎取締役(56)は
「地元と外部の人や企業を
つなぐ橋渡し役となり持続
可能な発展をサポートす
る。自然や文化を守りなが
ら、訪れる人にも住む人にも
魅力ある島づくりを目指
したい」と話した。

窓口に関する問い合わせ
は電話090(6361)
9995瀧さん。